

2008年10月13日
日本銀行

米ドル短期金融市場における流動性向上のための更なる対策

金融機関の流動性と資金調達の円滑化に広範に資する観点から、本日、イングランド銀行、欧州中央銀行、米国連邦準備制度、日本銀行、スイス国民銀行は、米ドル短期金融市場の流動性向上のための更なる対策を、協調して公表することとした。

イングランド銀行、欧州中央銀行、スイス国民銀行は、固定レートで入札額全額を供給する米ドル資金供給オペレーション（7日物、28日物、84日物）を実施する予定である。各オペレーションが行われる前に、固定レートが提示され、そのレートで資金供給が行われる。これらの米ドル資金供給オペレーションに応札する金融機関は、当該中央銀行に差し入れている適格担保の範囲内で、希望する金額の米ドル資金を調達することができる。これに伴い必要となる米ドル資金需要に対して十分な対応を図るため、米国連邦準備制度とイングランド銀行、欧州中央銀行、スイス国民銀行との間の米ドル・スワップ取極の金額は増額される予定である。日本銀行も、同様の措置の導入に向けて検討を行うこととした。

中央銀行は、引き続き協力し、短期金融市場に十分な流動性を供給するために万全の措置を講じていく方針である。

各国中央銀行の措置

各国中央銀行の措置については、下記ウェブサイト参照。

イングランド銀行	http://www.bankofengland.co.uk
欧州中央銀行	http://www.ecb.int
米国連邦準備制度	http://www.federalreserve.gov
スイス国民銀行	http://www.snb.ch

以 上